

# 仮想政府セミナー 第7回

## 米国政府エンタープライズアーキテクチャ再考

2月4日(金) 13:30~16:45

無料

会場: 東京大学 情報学環・福武ホール

主催: 東京大学公共政策大学院 社団法人 行政情報システム研究所

共催: 東京大学政策ビジョン研究センター

定員: 200名

### 第7回仮想政府セミナー

### 『米国政府エンタープライズアーキテクチャ再考』

日時: 2012年2月24日(金) 13時30分~16時45分

主催: 東京大学公共政策大学院 社団法人 行政情報システム研究所

共催: 東京大学政策ビジョン研究センター

会場: 東京大学 情報学環・福武ホール

定員: 約200名

#### セミナーの趣旨

米国連邦政府が開発したエンタープライズアーキテクチャ(FEA)は、日本政府の情報システム開発にも手法の面で多大な影響を与えました。具体的には、その日本政府版として2003年から業務・システム最適化計画が導入されています。CIO補佐官の創設もこの最適化計画と密接にかかわりがありました。しかし、最適化計画の導入後の内容をみると、エンタープライズアーキテクチャの目的からは、かなり逸脱したものとなっております。

そこで今回のセミナーでは、米国連邦政府でFEAの開発に専門家として携わってきた元連邦チーフアーキテクトのリチャード・バーク(Richard Burk)氏を招へいし、米国政府のエンタープライズアーキテクチャの開発の歴史とともに、導入の狙い、その狙いの達成度合い、さらには、最近の活用の課題について、議論を深めることとします。

同時に、日本政府の業務・システム最適化計画の課題、CIO、CIO補佐官とアーキテクトの機能について意見交換を重ねます。

#### 参加登録方法

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/news/2012/01/news20120123.htm>

または [www.iais.or.jp/ja/seminar/](http://www.iais.or.jp/ja/seminar/) から参加登録が出ます。

#### リチャード・バーク氏プロフィール

米国連邦政府行政管理予算局 チーフアーキテクト 2005年-2007年

同住宅都市開発省に30年在職 チーフアーキテクトなどを経験

Association for Federal Information Management (AFFIRM) 会長 2006-2007年

オハイオ州立大学公共管理学修士

## プログラム

### 13:30-13:40 開会挨拶

田辺国昭  
畠中誠二郎

東京大学公共政策大学院長  
社団法人 行政情報システム研究所理事長

### 13:40-13:55 冒頭講演『日本政府のこれからの電子行政戦略』

森田朗

東京大学大学院法学政治学研究科／公共政策大学院教授  
東京大学政策ビジョン研究センター シニア・フェロー(学術顧問)  
内閣官房 電子行政に関するタスクフォース構成員(主査)

### 13:55-14:55 基調講演『米国連邦政府のエンタープライズアーキテクチャ(FEA)再考(仮)』

リチャード・バーク 元米国連邦政府行政管理予算局チーフアーキテクト

- (1) FEAの概念と導入の目的
- (2) FEAが米国政府省庁内と省庁間の変革にどのように使われてきたか
- (3) FEAが政府サービスの提供の改善に与える影響について
- (4) 政府でEAをよりよく活用するための4つのアイデア

### 14:55-15:10 論点整理 リチャード・バーク氏に対する論点整理的質問

質問者： 奥村 裕一 東京大学公共政策大学院特任教授

## 休憩

### 15:20-16:40 パネルディスカッション『日本の取組みの課題-日米比較を視座に』

(プレゼンテーション) 日本政府の取組み

座間敏如 財務省CIO補佐官 / 総務省行政管理局技術顧問  
平本健二 経済産業省CIO補佐官

(ディスカッション)

リチャード・バーク氏以下登壇者全員

モデレーター: 城山 英明 東京大学大学院法学政治学研究科教授

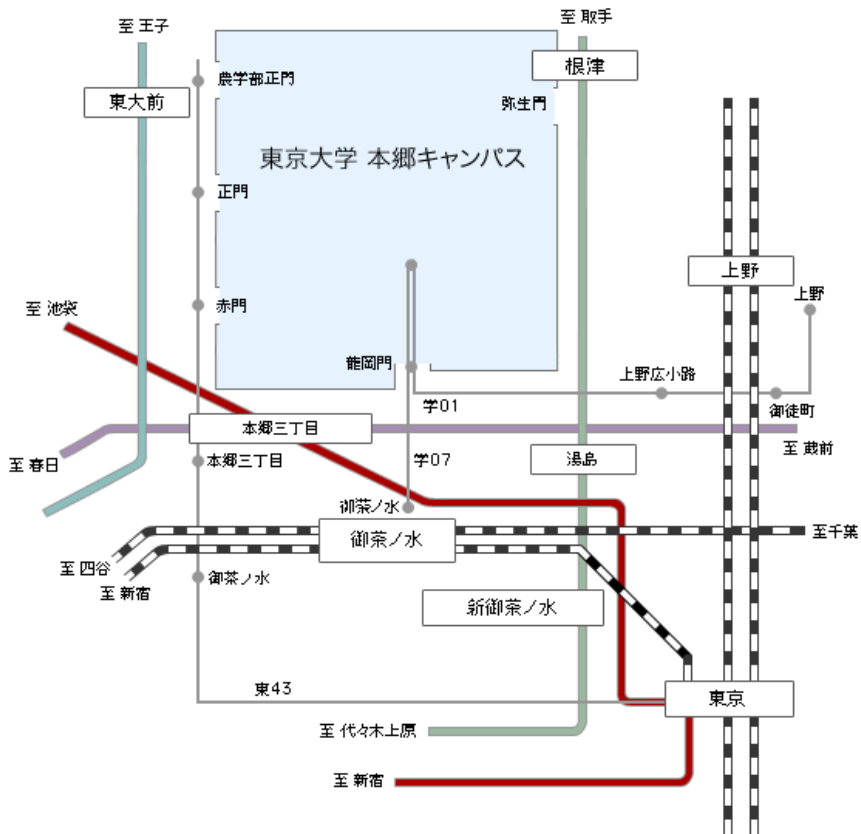
### 16:40-16:45 閉会挨拶

城山 英明

東京大学政策ビジョン研究センター長

# 地図 (東京大学HPより抜粋)

## キャンパスアクセスマップ



## 情報学環・福武ホールマップ

